

平成21年度環境社会配慮審査会・年次報告

2010年5月14日
環境社会配慮審査会
委員長 村山武彦

1. 運営と委員

11回の審査会を開催し（別紙1参照）、10件の諮問・答申を行った。議事録はJICAホームページ上に公開した。

平成21年4月より第2期委員の委嘱が延長されている（別紙2参照）。21年3月で織田由紀子委員、中村玲子委員、中山幹康委員、藤倉良委員、藤崎成昭委員が離任した。また平成21年6月から自然環境分野の臨時委員として米田政明委員、日比保史委員が委嘱された。

2. 個別案件の審査

答申・助言を行った案件は14件、報告を受けた案件は6件である。

| (答申・助言) | |
|---------|--|
| 1 | ベトナム 持続可能な総合運輸交通開発戦略策定調査（開調） スコーピング案 |
| 2 | モザンビーク クアンバーマンディンバ及びマンディンバーリシंगा道路事業準備調査（有償） スコーピング案 |
| 3 | インドネシア ジャカルタ都市高速鉄道建設事業（南北ライン区間延伸）（有償） スコーピング案 |
| 4 | エジプト カイロ地下鉄4号線整備事業（有償） スコーピング案 |
| 5 | ラオス 工業開発計画（有償） スコーピング案 |
| 6 | ブラジル サンパウロ都市交通整備事業（有償） スコーピング案 |
| 7 | マダガスカル トアマシナ港拡張計画（開調） スコーピング案 |
| 8 | モンゴル ウランバートル水供給改善計画（無償） スコーピング案 |
| 9 | リベリア モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画（開調） スコーピング案 |

| | |
|-------------|------------------------------------|
| | ング案 |
| 10 | マダガスカル トアマシナ港拡張計画準備調査（開調）DFR |
| 11 | ラオス 全国物流網計画調査（開調）スコーピング案 |
| 12 | ウガンダ 水力発電マスタープラン（開調）スコーピング案 |
| 13 | セネガル ポドール灌漑地区整備計画（無償）スコーピング案 |
| 14 | リベリア モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画（無償） DFR |
| （報告） | |
| 1 | ウガンダ ナイル架橋建設計画調査（開調）中間報告 |
| 2 | カンボジア 第二メコン架橋（無償）基本設計調査 報告 |
| 3 | ベトナム 持続可能な総合運輸交通開発戦略策定調査（開調）DFR 報告 |
| 4 | フィリピン 防災セクターローン協力準備調査（開発）DFR 報告 |
| 5 | モンゴル ウランバートル市水供給改善計画準備調査（無償）DFR 報告 |
| 6 | ウガンダ 水力開発マスタープラン（開調）中間報告 |

3. 審査会運営の省力化・効率化について

平成 20 年度環境社会配慮審査会・年次報告における提言を受け、平成 21 年 11 月 17 日の審査会にて運営方法の効率化・省力化について協議を行った。

その結果、カテゴリ A の開発計画調査型技術協力の採択前情報公開及び詳細計画策定調査（旧事前調査）の報告は電子メールで行うこととなった。

4. 所見

- ・スコーピング段階での報告内容に差が目立つように思われる。何らかの形で報告すべき最低限の内容やスコーピングマトリックスの構成等について、ある程度統一した見解を示しておくことが望ましい。
- ・有償案件を含めて、スコーピング段階での答申・助言が比較的多くなっていることから、新ガイドラインのもとで実施される助言委員会において、EIA レベルの調査が実施された後の議論が適切に行われるよう、配慮しておくことが求められる。

以上

別紙 1

環境社会配慮審査会開催状況

第 1 回 平成 21 年 4 月 13 日 (月)

-ウガンダ ナイル架橋建設計画調査 中間報告

第 2 回 平成 21 年 4 月 27 日 (月)

-ベトナム 持続可能な総合運輸交通開発戦略策定調査 スコーピング案 答
申案協議

第 3 回 平成 21 年 6 月 22 日 (月)

-モザンビーク クアンバーマンディンバ及びマンディンバーリシंगा道路事
業準備調査 スコーピン案 助言案協議

第 4 回 平成 20 年 7 月 13 日 (月)

-インドネシア ジャカルタ都市高速鉄道建設事業 (南北ライン区間延伸) ス
コーピング案 助言案協議

-エジプト カイロ地下鉄 4 号線整備事業 スコーピング案 助言案協議

第 5 回 平成 21 年 7 月 27 日 (月)

-ラオス 工業開発計画 スコーピング案 助言案協議

-ブラジル サンパウロ都市交通整備事業 スコーピング案 助言案協議

第 6 回 平成 21 年 8 月 4 日 (月)

-マダガスカル トアマシナ港拡張計画 スコーピング案 答申案協議

-モンゴル ウランバートル水供給改善計画 スコーピング案 答申案協議

第 7 回 平成 21 年 9 月 14 日 (月)

-カンボジア 第二メコン架橋 基本設計調査 報告

-ベトナム 持続可能な総合運輸交通開発戦略策定調査 DFR 報告

第 8 回 平成 21 年 12 月 7 日 (月)

-モンゴル ウランバートル市水供給改善計画準備調査 DFR 報告

-リベリア モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画 スコーピング案
答申案協議

-マダガスカル トアマシナ港拡張計画準備調査 DFR 答申案協議

第9回 平成22年1月18日(月)

-フィリピン 防災セクターローン協力準備調査 DFR 報告

第10回 平成22年2月8日(月)

-ラオス 全国物流網計画調査 答申案協議

-ウガンダ 水力発電マスタープラン 答申案協議

第11回 平成22年3月29日(月)

-ウガンダ 水力開発マスタープラン 中間報告

-セネガル ポドール灌漑地区整備計画 スコーピング案 答申案協議

-リベリア モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画 DFR 答申案協議

別紙 2

委員名簿

| | 氏 名 | 所 属 |
|----|-----------------|------------------------------------|
| 1 | 石田 健一 | 東京大学海洋研究所海洋生命科学部門助教 |
| 2 | 小林 正興 | 個人 |
| 3 | 田中 充 (副委員長) | 法政大学社会学部及び政策科学研究科教授 |
| 4 | 長畑 誠 | いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク (あいあいネット) 代表 |
| 5 | 野村 徹 | 日本シンガポール石油化学 (株) 代表取締役 |
| 6 | 長谷川 弘 (副委員長) | 広島修道大学人間環境学部人間環境学科教授 |
| 7 | 原嶋 洋平 | 拓殖大学国際学部教授 |
| 8 | 日比 保史 | コンサベーション・インターナショナル 日本プログラム代表 |
| 9 | 平山 義康 | 大東文化大学環境創造学部教授 |
| 10 | 真崎 克彦 | 清泉女子大学地球市民学科准教授 |
| 11 | 村山 武彦 (委員長) | 早稲田大学理工学術院創造理工学部教授 |
| 12 | 柳内 龍二 | 個人 |
| 13 | 米田 政明 | (財)自然環境研究センター 研究主幹 九州大学大学院客員教授 |